北１１

地域活動支援センター　ベルベッキオ

（医療法人　大壮会）

1　施設の概要

定　員	地域活動支援センター　30 人
所在地	〒331-0814 さいたま市北区東大成町 2-639-2　ｻﾝﾗｲｽﾞⅡ A 号棟 https://goo.gl/LFUF16
アクセス	加茂宮駅から　徒歩　８分 宮原駅から　徒歩１５分 東武バス「宮原一丁目」より　徒歩　８分
連絡先	TEL：080-8446-4881　FAX：無
開設日	平成 18 年 10 月 1 日
開所日時	月～土曜日　AM10：00～12：00 PM13：00～17：00

平均年齢	平均　：43 歳 最年少：18 歳 最年長：68 歳
送迎範囲	送迎なし
食事提供	なし
負 担 金	活動によっては実費負担有り
入浴	なし
車いす	受入可(車いす用トイレ無)
医療的ケア	なし
その他設備	エレベーター　なし（平屋） ユニバーサルシート （大人用ベッド）　なし

2　施設の運営方針・理念　※写真は移転前のものです。

間瀬　施設長

地域活動支援センターとは、メンバーの方々が自立した生活を送るための生産的活動や創作的活動の機会の提供、社会との交流の促進を図るための施設です。

皆さんが自分らしく豊かな生活を送るために 3 つの理念を掲げて運営しています。

1 つ目は、「選択」です。一人ひとりの選択をする自由を守りつつ、選択する機会を作り、適切な選択をする力を共に考えながら育みます。

2 つ目は、「個人的活動と社会的活動」です。一人ひとりのやってみたいという気持ちを尊重し、支援する個人的活動とプログラム等を通して他者・地域との交流を学ぶことを支援する社会的活動の両方を行うことができる機会を提供し、皆さんが豊かな生活を送るための支援をしています。

3 つ目に「健康」です。健康な部分を伸ばし、一人ひとりがより健康的に生活していくことを支援していきます。

この 3 つの理念を基に皆さんと共に豊かな生活を送ることを考えています。

ベルベッキオに通所する方々の目的は人に慣れたい、生活のリズムを整えたい、外に出る機会を増やしたい、デイケアや作業所等に向けての準備をしたい、他者との交流をしたい、趣味や楽しみを見つけるきっかけにしたいなど個人によって様々ですが、一人ひとりの希望に合わせて利用をしていくことができます。スタッフと相談することで自分の利用方法を考えていくことができます。また、ご自身の今後の生活についても一緒に考えていくことができます。

3　事業内容の紹介

創作的活動

ベルベッキオでは、ギャラリースペースを展開しており、創作的活動も盛んに行われています。

「絵心教室」「立体造形」のプログラムでは、メンバーの余暇の充実や他者との交流、興味の拡大などを目的に、藝大・美大在・卒のスタッフが利用者と共に様々な作品の製作を行っています。

季節ごとに特別なイベントも行っており、これまで実施したものには、タイダイ T シャツ・プリント T シャツ作りやオーブンでできる陶芸、木材を使った DIY、ペインティング等があります。また外部から講師の方々やボランティアの方々をお招きし、絵手紙教室や生け花の講座を開催したり、折り紙や木の実を用いた作品製作会を行ったりなども時折行っています。

それぞれのイベントで製作した作品はギャラリースペースに展示することもでき、メンバーだけではなく地域の方々や多くの方々に観て頂ける機会としても提供しています。

生産的活動

毎週月～金曜日の 9：30～12：00 に「午前プログラム」という活動をしています。

「午前プログラム」は、午前の短時間を使い、決められた作業を定めた日数行うことで生活のリズムを整えることや、自分の体調の変化やそれに対する対処法、またこれからどんな生活を送っていきたいかなどを共に考えていくことを目指しています。午前中の活動がしたい、集団での活動に慣れたい、活動量や集中力の向上を図りたい、朝起きることが苦手といった方々に有効です。さらにデイケアや就労を目指す準備期間に利用する方や退院後の生活リズムの安定のために利用する方など様々なきっかけで利用することができます。スタッフとの面談の機会を設けており、１ヶ月の振り返りや目標の確認など共に考えていくこともできます。

活動内容としては、自身で設定する自主課題から、牛乳パックいすの製作や自己認知を深めるためのグループワーク、イベントの準備物制作なども行っています。

地域交流活動

地域の方々とメンバーが共同する機会を設けることによって、地域との関係づくりや相互理解(当施設と展開する支援への理解)などの促進を目的としています。具体的には、「展示会」や「出張、絵心教室」等があります。展示会では、作品を展示することで自身の取り組みにより達成感を得ることができ、自分が表現したものが認められる体験を通して自己肯定感を高めることもできます。また作品を作るためには体調管理も必要な為、展示に向けて長期的な生活リズムを意識するきっかけにもなります。出張、絵心教室は、外部の社会資源を活用することで、芸術・美術をきっかけに、地域で暮らす利用者以外の方々も施設の活動に参加してもらえる場所となっています。

また、家族会や外部でのイベント活動、周年記念祭など様々なイベントを展開しています。イベントごとで多くの方とふれあい、地域交流の機会を感じることができ、地域の活性化への貢献をする事もできます。

その他の活動

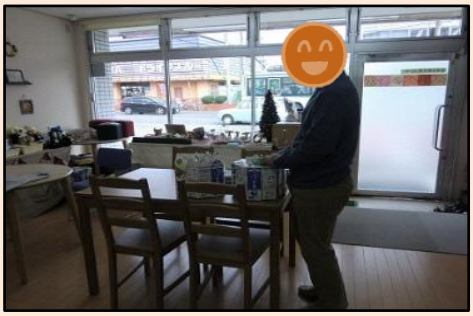
施設内において「フリースペース」の時間を設けており、自由で安全な場の確保をし、他者との交流や一人ひとりの目標に取り組むことのできる憩いの場を提供しています。時間帯は 13：00～17：00 で、入退出は自由となっています。

一人ひとりのその日のご予定やご自身の体調に合わせながら利用をすることができます。メンバー同士で会話をして交流する方や勉強、読書等をする方、または手芸品や塗り絵、プラモデル等を持参している方々など一人ひとりのスタイルで過ごすことができます。

一人ひとりの希望に合わせながらご自身で生活・利用方法を考えて行くことができます。お困りの際には、スタッフへの相談も随時行うことができるため、共に利用方法について考えて行くことができます。

4　事業の紹介写真

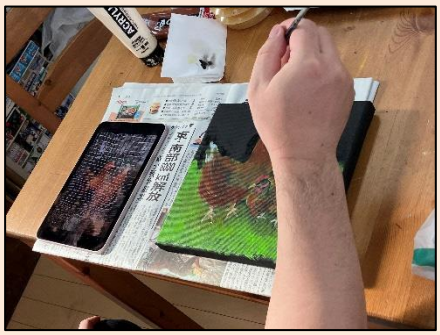
生産的活動(午前プログラム)



ご自身のステップアップや
生活リズムの安定を目的とした
作業プログラムです！
朝の時間を有効活用します

自己理解や自身のコミュニケーション上の
工夫・きっかけを見つけていくための
グループワークを実施中…

創作的活動・芸術文化活動



〈絵心教室〉
モチーフを見ながら、
アクリル絵の具を使って描きます！
美術スタッフがレクチャーしてます！

〈立体造形〉
陶土や紙粘土で様々なものを作ります
コップからちょっとした置物まで
幅広くいろいろ作っています！

地域交流活動

ギャラリーを借りての展示会。
自分の作品の違った一面が見れます！

木炭を用いたデッサン。
美術スタッフが丁寧に教えてくれます！

外出プログラム①(その他の活動)

近くの公園でバドミントン！
意外といい運動になります

季節の移り目に
利用者さんの提案でお散歩！

みんな大好きカラオケ！

５　施設の年間の行事

行事名：合同展示会
時期：年に２回
場所：随時場所を確保して行っています
内容：メンバーやスタッフ、ボランティアの方々や多くの方々の協力のもと展示会を開催することができています。ギャラリースペースだけには留まらず、絵画や生け花、プラモデル、縫製品等の一人ひとりが製作した芸術品を展示し、多くの地域の皆様に鑑賞していただく会です。メンバー方の日頃の成果を見て頂ける機会でもあり、地域の方々にも知って頂き、ふれあう場ともなっております。

行事名：バレーボール会
時期：不定期開催
場所：随時体育館の場所を借りて行っています
内容：現在、月に１度練習会を設けつつ、大会を目指して活動を進めています。多くの方は初心者であるため、誰でも参加がしやすく、楽しい雰囲気のもと活動をしています。

行事名：周年記念祭
時期：年１回
場所：地域活動支援センター　ベルベッキオ
内容：ベルベッキオが現在の住所に移転後１年を記念して昨年から開催され、今後も開催していく予定です。当日は、日頃お世話になっている関係機関やボランティアの方々などにも参加していただき、共に周年記念祭を盛り上げています。
また地域の方々もお迎えしており、多くの方々がふれあう場としても展開することができています。

行事名：合同家族会
時期：年に３回
場所：随時確保してお知らせしています。
内容：大宮すずのきクリニックデイケアひまわりと合同で家族会を開催しております。テーマを設けつつ、お話し合いを進めて頂き、ご家族間で情報を共有することができ、スタッフとも相談が行える場として展開しております。
年度末には講師をお招きし講演会を開催することもあります

行事名：季節ごとのイベント
時期　：春夏秋冬(季節に応じて)
場所　：地域活動支援センター　ベルベッキオ
内容　：お花見や七夕やハロウィン、クリスマス、忘年会など、季節ごとのイベントを利用者の方々と共に考えて開催しています。イベントごとに実行委員を設けることもあり、利用者の方も一緒に企画することがあります。

行事名：YUKARI サロン
時期：毎月第４月曜日
場所：地域活動支援センター　ベルベッキオ
内容:毎週第４月曜日に実施している地域密着型のイベントです。登録がなくても参加することができ、地域の方々とメンバー等がふれあうことができる場でもあります。
毎月、シニアサポートセンター諏訪の苑と協力しながら、テーマを定め、外部からの講師をお招きして活動を続けています。

例：デッサン教室、ヨガ、気功、講演等

（写真はユーカリの木です。人と人とをつないでいくイベントになることを目指し、YUKARI サロンの由来・シンボルとなっています。）

行事名：外部でのイベント
時期：随時
場所：開催場所によって随時変更
内容：当施設内だけのイベントだけでなく、外部でのイベントにも積極的に参加をしています。地域により近い場所で活動することによって他者との交流も増え、一人ひとりの活動の拡大もすることができます。また地域の方々との相互理解を図る事もでき、地域活性に貢献する事もできます。

6　施設の自慢・特色

スタッフに藝大・美大在・卒のスタッフが多く在籍しており、活動に“アート”の色を反映しながら、障害者芸術文化活動にも力を入れています。普段触れるきっかけが少ない芸術や美術でも、美術スタッフがいることでより身近に感じることができます。
また活動は施設内だけではなく、芸術・美術の力を活かして施設外の社会資源を活用した活動も行っており、メンバーの皆さんと地域の方が気軽に交流できる機会づくりにも取り組んでいます。

施設内にはメンバーや地域の方々が製作してくださった作品が展示されています。絵画や陶器、縫製品（バッグ、コースター、子供エプロン等)、生け花などといった様々なジャンルのハンドメイド品を観ることができます。

講師の方々をお招きし、絵手紙や生け花、製作会などの活動も行っています。それぞれの会で製作したものはご自宅に持ち帰る事もでき、ベルベッキオ内に展示して頂くこともできます。

その他

●イベントの実行委員になることができます。実行委員になることによってスタッフと共にイベントの企画や運営に携わることができます。今回の施設自慢・特色もメンバーの皆さんも一緒に考えてくれました。

●バレーボールの大会に出場しています。現在月に１回練習会を設けて活動をしています。皆で一致団結して大会出場を目指していることで団体での活動に慣れ、運動不足解消にもなります。またバレーボールなどを通して、メンバー同士の団結力が増したと感じているようです。

●年代層が幅広く、好きな話や悩みなどを共有する場にすることができています。

●自由に入退出をすることができ、施設内での活動もルールを守りながらであれば、自由にすることができるため、自由さの良さを感じているメンバーもいました。

●フリースペースやイベントを通してスタッフとの関係性も築くことができ、随時相談ができる環境を作ることができます。

7　法人が運営しているその他の施設

①

北区障害者生活支援センター　ベルベッキオ	
所在地	北区宮原町 2-62-17
施設類型・定員数等	相談支援（定員なし）